
星の戦士物語

ティンク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星の戦士物語

【Nコード】

N2261BA

【作者名】

ティンク

【あらすじ】

テンプレらしくテンプレではない死因で天国に召されてしまった光流星がテンプレではない能力を持って暴れる？わけでもなく頑張るおはなし。

プロローグ1

「う、うん…?」

一人の少年が目を覚ます。

目を覚ました少年はいかにも間抜けなあくびをひとつすると、周りの異変に気づきキョロキョロとあたりを見回した。

彼の名前は……いや、やめておこう。ここは仮に彼のことをマイケル・ジュリアン二世（仮）としておくことにする。

なぜかって？知るか。

とにかくマイケルなんだ、彼は誰よりもマイケルだからマイケルの称号が与えられたんだ、そして二世なのは多分マイケル一世が他にいるからなんだ、多分、ていうか絶対。今この物語の地の文様（つまり作者）が決めたんだからそうなんだ、きつと。まあそれはともかくとして、目覚めたマイケル二世（仮）はキョトンとして、周りを見ている。

先ほどまで彼はちょうど流れ星を見ながら眠っていた……というよりは流れ星を見ているうちに寝てしまった……の表現のほうが正しいかもしれない。

そして起きた瞬間にこれである。床は柔らかさの欠片もない大理石、空は澄み切ったように青く、小鳥（？）はさえずり、空気はとてもおいしい。極めつけは、今彼の目の前に悠然とそびえ立っている神殿である。まるで天国……というよりは……

「……………まさか……………h e a v e n ? !」

驚きのあまり大学生もビクリの綺麗な発音のEnglishを使

用してしまうマイケル二世（仮）。ちなみに、マイケル・ジュリアン二世（仮）はバリバリの日本人である。大事なことなので二回言う。日本人である。

マイケル・ジュリアン二世（仮）というやたら長ったらしい名前に考えをとらわれるな。感じる。世の中嘘だらけなのだ。ジュリアン（仮）が男であっても、民主党がズルであってもおかしくないのだ。多分。

話を戻そう。

彼が家に帰ってすこし眠くなったからベッドに入って、ちょうど窓になっていたベッドの真上から大量の流れ星が見え、見ている間に少したたねしてしまった間にこれである。

全く訳が分らない。

先ほどまでの行動のどこに召される要素があったのか。流れ星の一つが自分にも衝突したのか、と多分ないであろう己の死因の原因についてふかく考えながらマイケル二世は先に進むことにした。

「なんか……やけに静かなとこだな」

マイケル二世（仮）は神殿の中をずっと歩いていく。

もうかれこれ20分は歩いているが、最深部に達する気配すらない。シーンとした神殿の中を彼はさらに歩き続けた。

歩き始めてから約60文後、マイケル二世（仮）は最深部に達した。というより歩いていると急に目がくらみ、気づいたら違う場所にい

ただ。そこは、周りが虹色に輝く泉のほとりだった。

「こ、ここは…ん…？」

マイケル二世（仮）が泉の中心を見やると、泉の水がわきだしているオブジェ、そのさらに中心には先端に星がのった短い杖があった。

「どこかで見たことあるなあ……………」

マイケル二世は思い出そうとするが、なかなか思い出せない。

「……………あっ」

彼はやっとあの杖のことを思い出し、その名を口にした。

「……………スターロッドだ」

それは彼が大好きだったゲーム、星のカービィのスターロッドだった。

「なんでここに……………うわっ?!」

また目が一瞬くらみ、気づくと元の神殿に戻っていた。

しかし、今までと違うのは彼の目の前に1人の女性がいたこと。

「あなたが……光流星ですね」

女性はマイケル二世改め光流星の名を、自分自身に確かめるように呼んだ。

「な………なんでせうか？」

流星はその女性を見やり、なにがなんだかわからないから説明プリーズといったふうに返す。

「………まずは………すみませんでした」

女性がいきなり、ぺこりと頭を下げた。

「な………なんで？」

「実は……あなたが死んでしまったのは……私のミスなのです」

「は！？」

流星は、驚いて叫んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2261ba/>

星の戦士物語

2012年1月5日19時47分発行